

- 地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報を
どしどしお待ちしております！

★ 心 平尾小が2つの俳句大会でW受賞 の教育で始めた伝統の俳句

平尾小学校（上床新公校長）は長年、俳句に取り組み、全国から多数寄せられる2つの俳句大会で4作品が上位入賞しました。

第27回白秋祭協賛少年少女俳句大会では、6年の白浜那央さんがナンバー1となる特選、平成24年度一茶まつり全国小中学生俳句大会で、4年の新田沙理奈さんが上から2位となる秀逸^{しゅういつ}、6年の藤川幸大さん、上符真心さんが入選を受賞し、周囲を喜ばせました。

白浜さんは「自然に関することをよく俳句にしてきた。初めての表彰を受けびっくりした」と話しました。新田さんは「これからもたくさん俳句を書き、上級生のようにうまく表せるようにしたい」と抱負を語りました。指導にあたった生田正一教諭は「俳句で心の表現力を高め心優しく成長してほしい」と成長を期待しました。



↑賞状とともに笑顔を見せる、左から藤川さん、白浜さん、新田さん、上符さんの4人

★ 汐見小学校 「汐見っ子フェスティバル」 見の良さを地域に紹介

汐見小学校（竹内功校長）は11月2日、地域のかたに学校生活の活動を紹介するとともに、生まれ育ったふるさと汐見の良さなどを紹介する「汐見っ子フェスティバル」を開催しました。

この日は、PTA会員と老人会員らが来場。各学級で設けたテーマから、汐見小学校の歴史や地域の資源などを調べ発表しました。

始めに、1・2年生の2人は、「ようこそいらっしゃいました。ゆっくり楽しんで帰って」とおもてなしのあいさつをしました。3・4年生の4人は“海拔50m看板”などの写真を見せ「これは何の意味ですか」と来場者に質問する場面も。このほか、汐見の景観のすばらしさを話すなど、地域の大切さを発表しました。5・6年生の5人は、今では取り壊された長屋の古校舎や新校舎建設の作業風景、瀧海岸の白い砂浜での水泳教室など昔の写真と一緒に、当時の学校生活を解説しました。

来場したかたがたは「昔を思い出す良い機会になった」と口をそろえ、たくさんの拍手を送りました。



↑詳細に調べあげた地域を紹介する児童たち



←全校児童で取り組む一輪車の演技も披露し、会場を沸かせました

あんなこと、こんなこと、耳より情報